

- 八千代市、千葉県宅地建物取引業協会東葉支部、その他専門家グループと連携し、土地所有者の探索、適正管理及び住民利用についての促進並びにマッチングを進める
- ドローン等を用いた空き地の適正管理の検討、ランドバンクに登録のあった空き地の活用の検討、空き地相談会、及び、法人化に向けた検討を実施

背景・課題

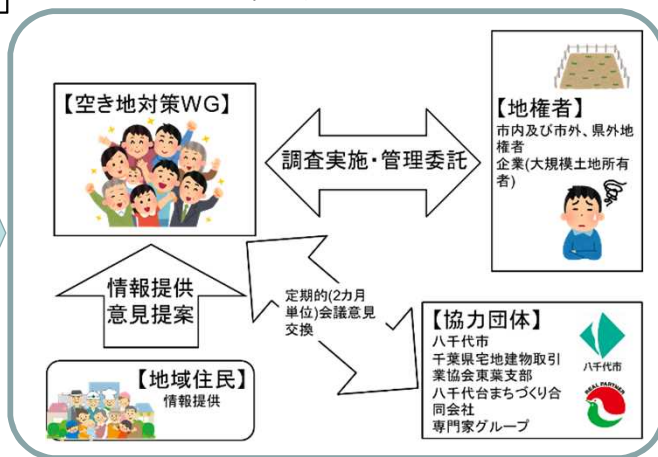
取組対象地域は平成29年11月に換地処分が行われた西八千代北部特定土地区画整理事業地内にあり建築物の建築が進みつつあるが、未利用地については雑草の繁茂等が発生し、管理不全の状態が進んでいる。

調査目的

事業の継続性を重視しながら、専門家グループとも連携し、自治会が調整役となり、地域のニーズに応じた空き地の活用方法を検討し、適正に管理、再利用に結び付ける取り組みを行う。

事業内容・スキーム

＜本モデル事業の実施スキーム＞



【事業内容】

1. 土地所有者の探索、空き地の適正管理・住民利用について検討する。また、ドローンパトロールを定期的実施し、空き地の管理状況を把握する。
2. 不動産管理の収入を得る方式を検討する。
3. 不動産管理を実施できる法人化を検討する。

モデル調査の成果

・住民ワークショップを開催し、空き地の利活用方法について検討を実施した。また、取組対象地域内の空き地において、3日間に分けてポケットパークの整備を実施し、空き地の暫定利用による管理を行った。

| | | |
|-----|---|--|
| 1日目 | ・敷地内の配置設置物の確保。 | |
| 2日目 | ・近隣の親子に協力いただき、ワークショップを開催。 ・ネットで近隣敷地から利用箇所を遠ざけてトラブル防止を図る。 | |
| 3日目 | ・ボルダリング、砂場、スモールハウス、カラー黒板等をポケットパークに設置。 | |

・ワークショップの開催によって、地域住民の空き地利用への興味を持つようになった。
・今後はエリアマネジメントやまちづくりに対して支援することを検討している。現在、行政に対してまちづくり協議会設置の働きかけをしており、令和3年度の後半に住民に向けた勉強会を開催する計画を提案している。

上記ランドバンクを運営する組織について検討。